

KEYAK!

1月号

なぜか毎年、12月の末までで今年度の冬は寒くないという判断を下し、1月2月のほうが全然寒いということをして今の時期が来て気が付きます、毎年です。

あけましておめでとうございます！

冬休みに入る終業式で、子どもたちに3つの約束事を話しました。1. 病気にならないこと 2. 事故に遭わないようにすること 3. 家で1つでもいいからお手伝いをする。1と2は運もあるのでともかく、3はご家庭においてどうだったでしょうか？ すすんでやるもよし、いやいややるのもよしです。始業式にどうだったか聞いてみましょう。

お手伝いは一番身近な体験値であり、できる、できた、は成功体験として自信や達成感につながりますし、そのときの役に立った感は、その子にとってひとまわり自分の器を大きくすることでしょう。また、何より相手の立場や気持ちが大変さから分かれば、将来の「めんどくさい」にはつながらないのではないかと思ったりします。

仕事始めの日に職員にも話したのですが、私たちは子どもたちの可能性をどれだけ引き出させてあげられるのでしょうか。将来プロの選手にとか宇宙飛行士になれるかもというのではなく、この園生活を送る間に、もっと身近で、手に届く可能性の話です。例えば、この子はもっと友だち増やせるはず、この子は絵が好きだからもう少し環境を整えてあげたらどうなるのだろう、この子はクラスのリーダー的存在になれるのではないかしら、このクラスは想像力豊かだからそれを形にしてあげられたら・・・といったふうに。ご家庭においても、お子さんの姿を見ていてふとそんなようなことが頭をよぎったことありません？ すぐには芽を出さないかも知れませんが、未来への「きっかけ」づくりとして今何ができるか。自分（大人）の凝り固まった型にはめることなく、頭を柔らかくして各学年末期を大切に過ごしていこうという話でした。園においても手立てはさまざまですが、そんな子どもたちの可能性を少しでも引っ張り出せるように、職員一同今年もよろしくお願い致します！

3歳

- ・ごっこ遊びなどにおいて、イメージを共有するだけでなく、ストーリーを次々とイメージしあそびをふくらませていく
- ・描くことや作ることの基本的な技術を習得することによって、さらに興味をもって楽しめる(経験の幅をひろげる)
- ・冬の自然事象に興味を持ち、友達と発見したり触れたりしてあそびに取り入れて楽しむ

4歳

- ・クラス、グループでひとつの目的を共有できる
- ・自分なりの力を発揮しながら、目的にむけて工夫したり繰り返し取り組んだりする
- ・冬の自然にかかわって遊びながら、様々なことに気づいたり感じたりする

5歳

- ・やりたい遊びが増え、友達を誘い相談しながら工夫、発展させていく
- ・見通しを持ってある期間集中して取り組める
- ・自分達で大まかなスケジュールを考え、それに沿って生活できる